



課題研究発表会

1月28日(火)に、総合自然科学コース2年生が課題研究の内容を発表しました。

総合自然科学コースの2年生は、理科・数学に関する7つのテーマ(班)に分かれ、今年度1年間をかけて課題研究を続けてきました。

本年度は、科学技術振興機構の「スーパーサイエンスハイスクール事業」ならびに、兵庫県の「インスパイア・ハイスクール事業」などにより、テーマによっては大学の先生や研究者の方から直接指導や助言を受

けて研究を進めることができました。

各班のテーマは以下の通りです。

1. 『天体観測』
2. 『山崎断層と化石』
3. 『たたら製鉄』
4. 『新舞子干潟に生息する生物および環境の調査』
5. 『行列(Matrix)という数学』
6. 『醤油とアミノ酸』
7. 『醤油における酵素の働きとコウジカビの研究』



発表の一部を英語で行う班もあり、取り組みへの熱意が込められた発表を聴くことができました。来年度に課題研究を行う総合自然科学コースの1年生の生徒は意欲的に発表を聴いていました。

また発表会では活発な質疑や応答が繰り返されました。

発表会には甲南大学の藤井敏司先生、兵庫県立大学の織井秀文先生、人と自然の博物館の岸本眞五先生、兵庫県立大学の大学院生(ティーチングアシスタント)にもお越し頂き、各班の発表に関して質問やコメントを頂きました。

最後の講評で、藤井先生には、発表を通して「説得力のある伝え方」に気付いたと思うので、これを次の機会に活かしてほしいとアドバイスをして頂きました。また、もっと勉強をして深い考察をする、目的と結論を対応させるなど、研究の進め方についてもコメントして頂きました。

織井先生は、日本語で「書き」、「考える」トレーニングを重ねて欲しい、好奇心を失わずに科学の楽しさを味わってほしいとコメントして頂きました。

発表会に来て頂いた先生方、本当にありがとうございました。

なお審査の結果、『新舞子干潟に生息する生物および環境調査』『醤油とアミノ酸』の2つのテーマが、2月10日(月)の全校発表会で発表することになりました。

また、『醤油とアミノ酸』は、2月15日(土)の大阪大学で開かれるSSH 課題研究合同発表会でも発表することになりました。

サイエンスフェア in 兵庫



2月2日(日)、神戸国際展示場にて、第6回サイエンスフェア in 兵庫が開催されました。本校総合自然科学コース1・2年生の生徒が参加し、ポスター発表をしたり、大学(院)生や研究者の話を聞いたり、運営補助をしました。

ポスター発表では、本校から課題研究のテーマに関する6つの発表がありました。発表を重ねるごとに、他校生や教員からの質問への対応も上手くなり、いき

いきと発表できました。また他校の高校生のポスターを見て回る中で、その成果に驚いたり感心したり、様々な感想を持ったようでした。

大学(院)生による高校・大学生活の紹介や、企業・研究機関のポスター発表も、生徒達が進路を考えていく上で有意義なものとなりました。

参加した生徒達にとって、将来に繋がる貴重な体験となりました。